

イエペはぼうしがだいすき

石龜泰郎 写真



文化出版局 1978年 1262円

デンマークのコペンハーゲンに住む実在の3歳の男の子、イエペの日常生活を描いた写真絵本です。イエペは100個も帽子を持っているほどの帽子好きです。なかでも一番のお気に入りは茶色の帽子で、保育園に行くときもかぶって行くし、でんぐりがえしをしても離しません。大好きなものにこだわる幼い子どもの気持ちが描かれています。写真から伝わる北欧の風俗も楽しめます。

いそがしいよる

さとうわきこ 作・絵

福音館書店 1987 743円

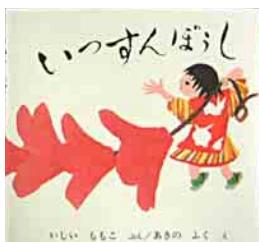


星のきれいな夜、パパばあちゃんは空を見ながら寝たいなと思いました。ベッドを外に持ってきて寝ればいいんじゃないとかと、パパばあちゃんはベッドをひきずりだしてきました。すると次に熱いお茶が飲みたくなって、それからどんどん家の中のものを出してきて、最後には…。いつも元気なパパばあちゃんの愉快な絵本です。「パパばあちゃんのおはなし」シリーズは「あめふり」「すいかのたね」「どろんこおそうじ」などがあります。

いっすんぼうし

いしいももこ 文
あきのふく 絵

福音館書店 1965年 1000円



おやゆびほどの大きさのいっすんぼうしは、都で働くおやぢとおわんのふねで村を出て、大臣のおやしきに仕えます。ある日、鬼がお姫さまをさらおうとしたのを、いっすんぼうしが助けます。鬼の残した打ち出のこづちで、大きくなったいっすんぼうしは、お姫さまとしあわせに暮らしました。やさしい丁寧な言葉で書かれた日本の昔話です。絵巻物のような美しい絵が、優雅な雰囲気を感じさせます。